

太陽光発電導入のためのチェックポイント

導入を最終決定するまでに最低以下のポイントをチェックすることをお勧めしています。

① あなたが太陽光発電を設置する目的は何ですか？

□ いろんな業者の話を聞くと元々の目的から外れてくるものです。自らの意思をブラさない意思決定が重要です。

※ 広くて、安くて、街中にある都合の良い家がないように、どれもこれも満たすのは不可能です。逆にそんな話があれば疑ってかかった方が無難です。

② 適性工事について業者と確認しましたか？

□ 資格や指定業者について確認すること。(法的チェック)

□ 太陽光発電に関して、設置後不具合・故障が発生するケースが多く報告されています。工事のポイントを業者より聞いて納得した上で設置をしてください。

□ 電気専門工事業者と屋根専門工事業者の混合チームを組んでいるのがベストです。

⇒太陽光発電は、電気工事と屋根工事のミックスになります。この両方の技術・実績に優れている業者は少ないのが現状です。理由は、太陽光発電が普及し始めてからそれほど年月が経っていないからです。例えば、元々屋根を専門でやっていた屋根工事業者が、太陽光発電が出てきて、電気工事もやり出した(この場合、屋根は専門だが、電気は専門とは言にくい)。もしくはその逆というパターンです。

□ 太陽光発電とエコキュート・IH キッキングヒーターをセットで導入される方が多いですが、太陽光発電が工事できるからといって、エコキュート・IH の工事ができるとは限りません。(法律上、エコキュート・IH の工事を行える業者の方が少ないです)

③ 目の前の工事業者は信頼できそうですか？

□ 会って話して判断するのも重要ですが、話の上手い下手で左右されがちです。会う前にインターネットを利用しいろいろ調べましょう。

□ 信頼と一口に言っても、その中身はいろんな要素から構成されています。インターネットで事前に調べられる以下のような点について確認が必要です。

- 営業年数(創業年)、実績
- 評判⇒検索サイトの Google で「社名」を入力し検索。業者のホームページ以外の情報も確認する
- 立地⇒四国外の業者では何かあったときにすぐに駆けつけられません。

※ポイントは、「客観的情報を採用する」ということです。自社のホームページには、客観的情報もありますが、意図的情報もあります。閲覧者が客観的情報をとチョイスして判断することが重要です。



④ 適正な設計ですか？

- 築年数、屋根の状態によっては、建物の強度・構造上設置が不可能な場合もあります。設置不可能なケースでも、売ろうとばかりに設置OKという工事業者も存在します。
- 適正な場所への設置ですか？（倉庫の上など設置を禁止されている場所もあります）
- KW 数を出そうと屋根の端までいっぱい設置している屋根を見かけますが、屋根への加重や風圧などの関係で、建築上問題です。

※適正な設計でないと 10 年保証が認証されないどころか設置建物自体への被害もあり得ます。

大事な資産に新たな資産を付けるのですから、資産価値を高められる設計であることが重要です。

⑤ あなたの家の屋根に最適な太陽光パネルですか？

- 依頼業者は、取り扱い太陽光発電メーカーに幅がありますか？
⇒太陽光発電は保証の関係で、メーカー認定制度を取っています。この制度のため、1 社しか取り扱っておらず、そのメーカーがいいと強引に押し売りする業者もいます。しかし、どのメーカーが良いかは、屋根との相性とあなたの希望に依存します。取り扱いメーカーの幅は重要です。
- メーカー毎のメリット・デメリットの説明は業者から聞きましたか？

⑥ 価格は納得していますか？

- 高い/安い ではなく、なぜその価格になるかを納得しましたか？
⇒説明を聞いても専門知識がないから、よく分からないという人もいます。その場合、分かりやすく説明してもらうのも重要です。あと、メンドウでも分かるようにすることも重要です。良く吟味するためには、ある程度の理解は必要です。安くはないモノですので、「自分が自信を持って納得した」となった状態で購入するのが良いと思います。それがメンドウで、結局安かろう悪かろうの買い物になり、数年後不具合・故障が発生したという話を良く聞きます。
- 分割払いの場合、利率は納得していますか？（手間を惜しまず低くするパターン vs. 少々高めだが手間要らずパターン）

すでにいくつかの業者とお会いされているなら、どの業者も上記のことは聞かずとも説明してくれているはずです。今一度再確認しましょう。

